

**地下鉄短信 (第348号) 平成30年5月16日発行**

編集 (一社)日本地下鉄協会 責任者 向田正博

電話 03-5577-5182(代) FAX 03-5577-5187

**記事「平成30年度省CO2支援促進事業説明会」の開催**

平成30年度省CO2支援促進事業説明会を5月8日(火)に当協会5階会議室で開催し、12地下鉄事業者、25名が参加しました。

鉄軌道分野における平成30年度の省CO2支援促進事業(旧エコレールラインプロジェクト事業)は、平成29年度に続き駅舎等の照明のLED化や空調設備の省エネ化を支援する「民間建築物等における省CO2改修支援事業」と平成30年度から新たに創設された車両や電力設備の先進的な省エネ化を支援する「鉄軌道輸送システムのネットワーク型低炭素化事業」の二つの支援事業が適用となります。



本説明会では、国土交通省鉄道局都市鉄道政策課から高橋専門官を講師に迎え、平成30年度の両支援事業の公募内容について説明していただくとともに質疑応答しました。

民間建築物等における省CO2改修支援事業では、補助金執行団体(基金補助事業者)は「静岡県環境資源協会」になり、公募期間は、4月16日から5月25日午後5時までに、一方、鉄軌道輸送システムのネットワーク型低炭素化事業の補助金執行団体は「低炭素社会創出促進協会」となり、公募期間は、4月24日から5月21日午後5時までとなるこのことでした。

**省CO2支援促進事業説明会 風景①**

また、公募事業の条件は、「民間建築物等における省CO2改修支援事業」では、「格付投資情報センター」及び「日本格付研究所」の格付けが共に「A」とならない鉄軌道事業者の関連施設において、LED照明及び高効率空調の導入によりCO2排出量を15%以上削減できる事業となります。

次に、「鉄軌道輸送システムのネットワーク型低炭素化事業」では、軽量化等により40%以上のCO2削減効果が見込まれる車両新造への支援など3つの事業に区分して公募されており、交付申請できる事業者、応募可能な設備及び必要となるCO2削減効果等について公募要領に記載されています。

**省CO2支援促進事業説明会 風景②**

この他、「鉄軌道輸送システムのネットワーク型低炭素化事業」では、中小事業者への支援に重点を置くため、中小事業者が採択されやすいように優先採択方式を採用するとともに補助率も中小事業者が有利となるよう配慮しているとのことです。

都市鉄道政策課専門官からの公募内容の説明が終了した後、地下鉄事業者からの事前質問及び交付決定後のスケジュール等の質問について回答していただき、説明会を終了しました。

【お知らせ】

❖ 【「SUBWAY」5月号】平成30年5月21日(月)に発行します。

「SUBWAY」(第217号)5月号を発行します。主な掲載記事

- ・「巻頭随想」・・・ 星野 晃司 小田急電鉄株社長
- ・「解説」・・・ 平成30年度都市鉄道関係予算の概要 ほか
- ・「特集」・・・ 「リニアメトロ推進本部30周年記念」
- ・「特別寄稿」・・・ 「リニアメトロの30年」古関 隆章 東大大学院教授ほか
- ・「歴史グラビア」・・・ 「写真で見る大阪市交通局114の軌跡」
- ・「車両紹介」・・・ 新型特急ロマンスカー・GSE(70000形)の概要
- ・「世界あちこち探訪記」・・・ チリの「サンティアゴ」
- ・「沿線散策」・・・ 横浜高速鉄道「みなとみらい線おすすめジョギングコースの紹介」
- ・「賛助会員だより」・・・ 「東洋電機製造株」、「パシフィックコンサルタンツ株」

他

(注) 必要に応じ、社内へ転送、回覧などをお願いします。

配信先を変更又は追加した方がよい場合は、新しい配信先の職名、氏名及びメールアドレスをお知らせ下さい。

本短信について、ご意見をお寄せ下さい。

連絡先: mukaida@jametro.or.jp